

東京
芸術劇場

Tokyo
Metropolitan
Theatre

楽しくってマジカルな、
カラダの魔法があふれだす！



ソラス・デ・ヴェント
「空飛ぶ男たち」

photo: Maccana Chama



カンパニー・レ・ギューム
「ストイック」

photo: Virginie Chomette



カンパニー・ドゥッシュドゥスウ
リニア
「Linea
— ダンシンググローブ!」

photo: Art. Egg

ACTI FESTIVAL 2016

2016年(平成28年)5月5日[木・祝] — 8日[日]

東京芸術劇場

劇団コープス
「ひつじ」

photo: Gacy Mulcahey



劇団コープス
「キャンプしましょう!
おひめさま」

photo: Isorine Marc



主催 = 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)
東京都 / アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)
後援 = 豊島区



観覧無料

劇団コープス Corpus

後援=在日カナダ大使館



「ひつじ」

Les moutons

5日[木・祝]・6日[金] 14:45~15:15

ロワー広場 (上演時間 約30分)

人間がひつじに扮し、羊飼いに追われたり、ひつじ同士がじゃれあったりと都会の中心でメエメエと愛らしいひつじたちが戯れる。劇団コープスが鋭く観察したひつじの特性を通じて、都会の中心で面白くて不思議な田舎のひつじ牧場を再現。みんなに大人気の「ひつじ」が今年も東京芸術劇場にやってきます！



©Leslelaw Tom

「キャンプしましょう！ おひめさま」

Camping Royal

7日[土]・8日[日] 14:45~15:25

ロワー広場 (上演時間 約40分)

宮殿から飛び出した二人のおひめさまたちがやってきたのは、何とキャンプ！ テントのドレスを身にまとったおひめさまたちは芝生上の舞踏会で華麗に踊ります。豪華な宮殿ではなく、質素なキャンプ生活に戸惑うおひめさまたちに注目。東京芸術劇場に初めて登場することから大人まで楽しめるコメディをお楽しみください。



photo: Geoff Bouckley

Schedule

シアターイースト

シアターウエスト

ロワー広場

5月	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30	19:00
5日[木・祝]							空飛ぶ男たち	ひつじ				スティック					Linea
6日[金]							空飛ぶ男たち	ひつじ				Linea					
7日[土]							空飛ぶ男たち	キャンプしましょう！ おひめさま				スティック					
8日[日]							空飛ぶ男たち	キャンプしましょう！ おひめさま				スティック					

★公演終了後に、ご入場いただいたお客様にご参加いただける、出演者によるワークショップを舞台上にて実施いたします。(20分程度予定)

Ticket

※4歳以上のお子様のご鑑賞をおすすめします。

チケット料金(全席指定・税込)	1演目券	2演目セット券	3演目セット券	劇団コープス「ひつじ」、 「キャンプしましょう！ おひめさま」 観覧無料
大人 Adult	¥2,000	¥3,500	¥4,800	
子ども(高校生以下) Child (Under high school students)	¥1,000	¥1,500	¥1,800	

木づかいの国とっとり「木育広場」



入場無料

TACTフェスティバルの期間中、とっとり時間を体感できる「木育広場」が芸術にやってきます！ぜひ、とっとりの良さ・あたたかさを感じてください。あなたも今日からウッドスタート！

会場：アトリエウエスト

*利用時間は芸術HPにてご確認ください。



東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 (休館日を除く10:00~19:00)

<http://www.geigeki.jp/t/>(PC) <http://www.geigeki.jp/i/t/>(携帯)

チケットぴあ <http://pia.jp/t/>(PC・携帯) 0570-02-9999 (24時間・音声自動応答)

(Pコード: 空飛ぶ男たち 449-125 / スティック 449-137 / Linea 449-139)

ローソンチケット <http://l-tike.com/> 0570-000-407 (オペレーター) 0570-084-003 (音声自動応答)

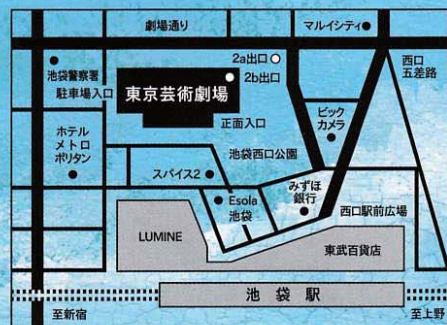
(Lコード: 空飛ぶ男たち 31530 / スティック 31531 / Linea 31532)

イープラス <http://eplus.jp/>(PC・携帯) *セット券の取扱いはございません。

*ぴあ・ローソンで取扱うセット券は、同日開催公演に限りです。*公演情報等につきましては、変更が生じる場合がございますので、ご了承ください。

*障害をお持ちの方は割引料金にてご観劇いただけます。詳しくは、劇場ボックスオフィスまで。

◎お問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 (休館日を除く10:00~19:00)



東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1

Tel. 03-5391-2111

JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線 池袋駅西口より徒歩2分。池袋駅地下通路2b出口で直結しています。

託児施設
のご案内

東京芸術劇場でご鑑賞の際には、一時託児をご利用いただけます！(要事前申込・有料)

東京芸術劇場託児施設 だっころーム 03-3981-7003(平日10:00~17:00)

●利用時間: 開演30分前から終演30分後まで

●利用料金(1公演あたり・税込): 0~1歳 ¥2,560 / 2歳以上 ¥2,160

ソラス・デ・ヴェント 「空飛ぶ男たち」

Solas de Vento:
Men with Soles of Wind

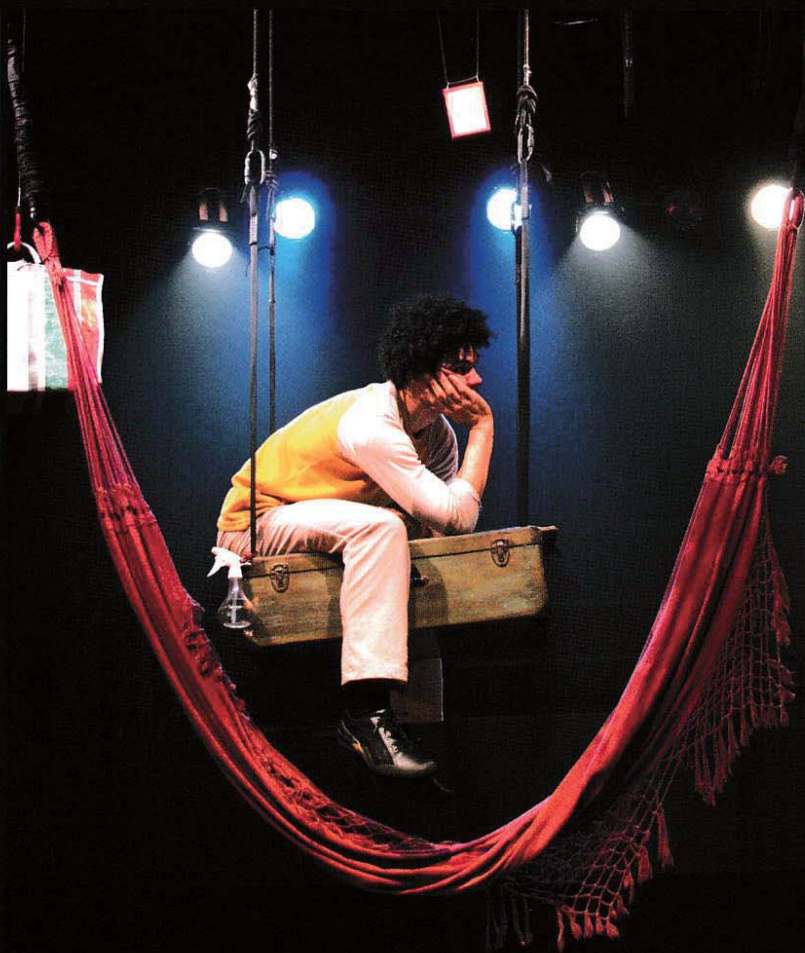
5日[木・祝] 13:30~14:40

6日[金] 13:30~14:40

7日[土] 13:30~14:40

8日[日] 13:30~14:40

シアターイースト (上演時間 約70分)



作・出演：ブルーノ・ルドルフ、リカルド・ロドリゲス
演出：ロドリゴ・ルハン

これは現代のおとぎ話かもしれない。

空港の入国審査で止められてしまったブラジル人とフランス人の男性二人。交渉に手を尽くすが埒が明かず、スーツケースを抱えたまま空港に寝泊まりすることになる。イライラをつのらせる二人は、互いに八つ当たりして険悪なムードが漂う。そしてハンモックやらロープを駆使して作る彼らの居場所は、彼らの状況同様「宙ぶらりん」な状態で話が進んでいくのだ。

ここで彼らの「空中でのパフォーマンス技」は、ひけらかすためではなく、物語を推し進めるために使われるのがニクい。しかも本意なはずの滞在場所が、どんどん居心地よくなってしまふ。次第に打ち解け合う二人には、さらなる展開が待っている……楽しくも深い心の交流を描いた作品だ。

後援 = 駐日ブラジル大使館

駐日ブラジル大使館
[<O>][O]
EMBAIXADA DO BRASIL EM TOQUIO



カンパニー・レ・ギューム 「ストイック」

Cie Les Gums: Stoik

5日[木・祝] 16:00~16:50

6日[金] 11:00~11:50*

7日[土] 16:00~16:50

8日[日] 16:00~16:50

シアターウエスト (上演時間 約50分)

★公演終了後にワークショップ実施

photo: Dominique Hogard

作・出演: ブライアン・エニノ、クレマンズ・ルージュア

これはもう、見た目からオカシイ。神経質そうな大男と、やたらと動きのヘンテコな小さい女……その身長差たるや、男の脇の下を女が普通に歩いてしまうほどだ。

舞台上には鞆や机、椅子といった日用品があるのだが、これまたちょっとおかしな使われ方をする。二人のマジメでコミカルなやりとりが続くものの、重要なのは、あくまでも身体性である。卓球もやるし棒の上でバランスも取るし、歌だって歌ってしまう。

だが絶えず心のどこかで相方のことを気にしているのだ。そう。ドタバタに見えるすべてのことは、相手を理解するためのレッスンなのである。でかい男も、小さい女も、ぶっきらぼうだが愛らしい。互いに信頼し合う、その関係性が見る者の胸をほっこりさせるのである。

後援 = 在日フランス大使館 /
アンステイチュ・フランセ日本



photo: Jean-Claude Bechier

photo: Dominique Hogard



photo: Virginie Chometon



photo: Claudine Julien



photo: Act Eos

カンパニー・ドウツシュドウスウ リネア

「Linea — ダンシングロープ!」

Cie Sens Dessus Dessous: Linéa

5日[木・祝] 18:00~18:50

6日[金] 16:00~16:50

7日[土] 11:00~11:50*

8日[日] 11:00~11:50*

シアターウエスト (上演時間 約50分)

★公演終了後にワークショップ実施

作・パフォーマンス: キム・ヒュン、ジャイブ・ファウリイ

登場するのは男女二人とロープのみ。これはタイトルの通り「踊るロープ」であると同時に、「ロープと踊る」作品でもある。

子どもの頃、縄跳びでもロープでも「床に置いてクルリと勢いよく円を作ると、スワッシュと円のまま走るように移動していく遊び」をしたことはないだろうか。それはエネルギーがそのままロープに伝わって形になる……つまり「見えないはずのエネルギーが、目に見えるよう変換された形そのもの」なのである。だからワクワクする。しかもこれをプロのアーティストが扱うと、ただのロープが、次々に見たこともないような姿へ変身していく。さらには手品の要素も加わって、ちょっとしたイリュージョンが展開される。

想像力と創造力が、一本のロープに無限の生命を与える舞台である。

後援 = 在日フランス大使館 /
アンステイチュ・フランセ日本

